

# 学級担任のまなざし 47

Okayama Prefectural Education Center

R2.8.28(Fri)

## 「小さなことで考える力を」

「ふ～。低学年の指導って大変ですね。あれこれ細かく言わないといけないから…」と、職員室に戻ってきた若手教員がこぼしました。「どうしたの？」と尋ねると、掃除時間が終わり教室に帰ってみると、床にゴミが落ちていたり、ほうきが出ていたり、雑巾が無造作にかけられていたり、机がそろっていなかったり、大変な状況だったそうです。そこで、一人一人にやることを割り当てて、できた子どもには次の割り当てをしているうちに、授業開始の時間になってしまったとのことでした。

自分にも同じ経験があったので、少しアドバイスをしました。「教室を短時間できれいにしたいとき、一人一人に細かくやることを割り当てれば、確かに割り当てたところはきれいになるけど、それ以上にはならないわね。例えば、こうってみてはどうかな。『教室をきれいにします。きれいにする時間は5分間です。やることはみなさんに任せます』 となるとどう思う？」「自分でやることを見つけてきれいにすると思います。やらされ感がなくて、いろいろ工夫する子どももいると思います。」「教室をきれいにするという目的のためなら何をしてもいいという自由があるところがポイントなのよ。」「何をすればいいか分からなくてじっとしている子どもはいませんか？」「友達のしていることを見るように言って、その中から選んで真似をするように助言したらどうかな。言われたことだけをやるより、選んで真似をする方が一歩前進だと思うわ。」「たった5分間でも、自分で考える機会になりますね。」

小さなことでも、一年間積み重ねていけば、大きな力になります。学級担任には一年間の時間が与えられています。若手教員のみなさんは、子どもたちの言動に一喜一憂する毎日だと思えますが、1年先にどう成長してほしいか、という長い視点で子どもたちを見ることも大切にしてほしいと思います。